

日本遺産認定第1号

# 近世日本の 教育遺産群

— 学ぶ心・礼節の本源 —



JAPAN HERITAGE

日本遺産



足利学校伝来の国宝漢籍



弘道館での武道演武



岡谷学校講堂内部

## ストーリー

我が国では、欧米諸国の近代教育制度の導入前から、支配者層である武士のみならず、多くの庶民が読み書き・算術ができ、礼儀正しさを身に付けて、高い教育水準を示しました。これは、藩校や郷校（郷学）、私塾・寺子屋など、身分に関係なく多くの人々が学ぶことができた近世日本の教育遺産の役割が大きかったといわれています。

教育遺産は明治維新以降の近代化の原動力となったほか、そこで培われた礼儀・作法を重んじる姿勢が、現代日本人にも国民性として継承され、学びの精神が現在まで受け継がれています。



咸宜園絵図（公益財団法人 廣瀬資料館蔵）

弘道館と対を為す公園（信楽園（茨城県水戸市））

## 水戸市 / 足利市 / 備前市 / 日田市 教育遺産世界遺産登録推進協議会

（事務局：水戸市教育委員会事務局教育部歴史文化財課世界遺産推進室）

〒310-8610 茨城県水戸市中央1-4-1

【TEL】029-306-8132 【E-mail】isan@city.mito.lg.jp 【HP】http://manabukokoro.jp/

HPはこちら /



文化庁

Agency for Cultural Affairs,  
Government of Japan

令和3(2021)年度文化資源活用事業費補助金  
(文化遺産観光拠点充実事業)

# 近世日本の教育遺産群

—学ぶ心・礼節の本源—

## 構成文化財



閑谷学校(岡山県備前市)

活動期間:寛文10年(1670)~明治3年(1870)

岡山藩主池田光政が領民のために創設した、世界最古の庶民のための公立学校です。岡山藩だけでなく他の地域からも入学者がいた全国最大規模の郷校(郷学)です。



足利学校(栃木県足利市)

活動期間:?  
~明治4年(1871)

創設年代は未詳ですが、イエズス会宣教師フランシスコ・ザビエルが「日本国中最大にして最も有名な坂東の大学」と紹介した日本最古の学校です。



咸宜園(大分県日田市)

活動期間:文化14年(1817)~明治30年(1897)

儒学者廣瀬淡窓が開いた近世日本最大規模を誇る私塾です。入学に当たり身分・年齢・学歴を問わない「三奪法」を導入し、全国から多くの人々が入門しました。



弘道館(茨城県水戸市)

活動期間:天保12年(1841)~明治5年(1872)

水戸藩第9代藩主徳川斉昭が創設した藩校です。国内最大の藩校で、儒学・歴史・医学・武道など様々な学問を学べる総合大学のような役割を担いました。

咸宜園を支えた学園都市 豆田町(大分県日田市)

### 日本遺産とは

文化庁が定めた制度で、地域の歴史的の魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定します。ストーリーを語る上で欠かせない有形・無形の文化財群を、地域が主体となって整備・活用し、国内だけでなく海外へも情報を発信して、地域の活性化を図ることを目的としています。

